

「BRAIN and NERVE」第 69 巻 総目次

2017 年 (第 1~12 号)

頁数は通巻数, () 内は号数

【特 集】

〈近年注目されている白質脳症〉

Neuronal Intranuclear Inclusion Disease (NIID) — エオジン
好性核内封入体病…曾根 淳・祖父江 元・ 5(1)
神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
(HDLS)……………玉岡 晃・ 17(1)

CARASIL — (Cerebral Autosomal Recessive Arteriopathy with
Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy)

……………上村 昌寛・野崎 洋明・小野寺 理・ 25(1)
臨床概念としての gliomatosis cerebri

……………杉山 一彦・ 35(1)

〈Stroke-Like Diseases — 鑑別時に注意を要する 5 病態〉

低血糖性片麻痺の原因と診断

……………菅原恵梨子・工藤 洋祐・城倉 健・ 101(2)

MELAS による脳卒中様発作

……………村上 秀友・小野賢二郎・ 111(2)

脳卒中と誤診されやすい脊髄硬膜外血腫

……………栗山 勝・ 119(2)

PRES — Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome

……………岡本浩一郎

本橋 邦夫・藤原 秀元・石原 智彦

二宮 格・小野寺 理・藤井 幸彦・ 129(2)

特発性低髄液症

……………竹下 岩男・鈴木 諭・岩城 徹・ 143(2)

〈磁気刺激の新たな展開〉

経頭蓋磁気刺激装置の開発

……………関野 正樹・川崎 雄太・ 195(3)

痛みに対する経頭蓋磁気刺激療法…齋藤 洋一・ 207(3)

パーキンソン病に対する反復経頭蓋磁気刺激療法

……………松本 英之・宇川 義一・ 219(3)

反復経頭蓋磁気刺激を用いたリハビリテーション

……………竹内 直行・出江 紳一・ 227(3)

気分障害への磁気刺激療法……………鬼頭 伸輔・ 239(3)

神経ネットワークダイナミクスから探る反復経頭蓋磁気刺
激の抗うつ効果……………中村 元昭・ 247(3)

〈ブロードマン領野の現在地〉

ブロードマンの脳地図をめぐる

……………河村 満・ 301(4)

タッチの階層仮説……………岩村 吉晃・ 313(4)

動作制御機能の中枢…中山 義久・星 英司・ 327(4)

脳と外界のインタラクション……………泰羅 雅登・ 339(4)

注意, 学習, 社会性機能……………渡邊 正孝・ 347(4)

前向きな行動を支える 10 野, 意味処理のハブの役割を担
う 38 野……………梅田 聡・ 355(4)

情動, 記憶, 共感……………上田 敬太

藤本 岳・生方 志浦・村井 俊哉・ 367(4)

味覚, 社会性, そして時間認知と 12 野

……………河村 満・ 375(4)

内受容感覚に基づく行動の制御……………大平 英樹・ 383(4)

ヒトの視覚野の区分と症候……………河内 十郎・ 397(4)

ウェルニッケ野周辺の機能

……………加我 君孝・南 修司郎・ 411(4)

悲しみと痛みと認知の中枢

……………仁井田りち・三村 将・ 417(4)

辺縁葉皮質と空間認知・エピソード記憶形成

……………小林 靖・ 427(4)

記憶と認知の接する場所……………永福 智志・ 439(4)

海馬研究の最前線……………岡田 桜

青木 勇樹・佐々木拓哉・池谷 裕二・ 453(4)

ヒトの頭頂連合野と高次機能……………櫻井 靖久・ 461(4)

聴覚機能マップ……………藤本 蒼・小村 豊・ 471(4)

ブローカ野における文法処理

……………山田 亜虎・酒井 邦嘉・ 479(4)

〈Voxel-Based Morphometry — 体積からわかること〉

Voxel-Based Morphometry の原理……………根本 清貴・ 505(5)

統合失調症における VBM 研究……………根本 清貴・ 513(5)

VBM からみたうつ病・双極性障害の脳メカニズム

……………松尾 幸治・ 519(5)

自閉スペクトラム症の Voxel-Based Morphometry

……………山末 英典・ 529(5)

健常小児の脳の形態的発達

……………松平 泉・川島 隆太・瀧 靖之・ 539(5)

VBM と認知機能……………竹内 光・川島 隆太・ 547(5)

〈局在病変の神経心理学〉

純粋健忘……………田川 皓一・時田 春樹・ 591(6)
相貌変形視……………菊池 雷太・赤池 瞬・ 607(6)
失音楽症例からみた音楽の脳内メカニズム

……………佐藤 正之・ 615(6)

ソマトパラフレニア

……………秋田 怜香・秋山 知子・三村 将・ 629(6)

時刻表的行動 — 時間, 行動, 認知機能

……………二村 明德

四郎丸あずさ・黒田 岳志・本間 元康

金野 竜太・小野賢二郎・河村 満・ 639(6)

〈あしたのアルツハイマー病治療〉

アルツハイマー病治療のあした — 序に代えて

……………森 啓・ 688(7)

Preclinical AD とバイオマーカー — J-ADNI から AMED プ
レクリニカル研究へ……………鈴木 一詩・ 691(7)

DIAN/DIAN-J/DIAN-TU

……………嶋田 裕之・東海林幹夫・池内 健

鈴木 一詩・千田 道雄・石井 賢二

松田 博史・岩田 淳・井原 涼子

岩坪 威・武藤 香織・中澤 栄輔

関島 良樹・森 悦朗・池田 学

池田 将樹・川勝 忍・中西 亜紀

橋本 衛・布村 明彦・松原 悦朗

福井 充・白戸 朋代・平井 香織

坂本 昌子・藤井比佐子・森 啓・ 701(7)

先制医療へ向けたプレクリニカル期臨床試験

……………宮川 統爾・岩坪 威・ 711(7)

リスク因子を背負った認知症治療研究

……………田中 稔久・池田 学・ 723(7)

研究者主導臨床研究における支援組織 — DIAN 研究

……………藤井比佐子・ 733(7)

アルツハイマー病疾患修飾薬開発のためのレジストリ

……………秋山 治彦・ 743(7)

オレンジプラットホーム……………鳥羽 研二・ 749(7)

Preclinical AD の Trial Ready Cohort の意義と必要性

……………岩田 淳・ 757(7)

健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究
(JPSC-AD)……………二宮 利治・ 763(7)

百寿者コホートからみた認知症……………新井 康通・ 771(7)

今日の国際共同研究における臨床評価尺度と認知機能検査

……………井原 涼子・ 781(7)

ゲノム研究から探索するアルツハイマー病の病態と治療

……………池内 健・ 789(7)

MRI 解析の進歩……………松田 博史・ 799(7)

アルツハイマー病治療戦略におけるアミロイド PET

……………石井 賢二・ 809(7)

タウ PET……………樋口 真人・ 819(7)

脳脊髄液および血液におけるアルツハイマー病バイオマ
ーカー……………柳田 寛太・田上 真次・大河内正康・ 825(7)

アルツハイマー病のバイオインフォマティクス解析

……………菊地 正隆・中谷 明弘・ 835(7)

臨床医学における統計学のポイント

……………山本 紘司・ 843(7)

REDCap と REDCap2SDTM — 多施設臨床研究データ取
集システムと研究データ共有のための変換ツール

……………山本 景一・ 848(7)

〈遺伝性脊髄小脳失調症の病態と治療展望〉

本邦における遺伝性脊髄小脳変性症の全体像

……………他田 正義・横関 明男・小野寺 理・ 879(8)

常染色体優性遺伝性脊髄小脳変性症の最近の話題

……………池田 佳生・ 891(8)

ポリグルタミン病の病態機序……………高橋 祐二・ 901(8)

薬物療法の現状と最近の試み — フリドドライヒ運動失調
症とマシャド・ジョセフ病を中心に

……………矢部 一郎・佐々木秀直・ 913(8)

HMGB1 補充による脊髄小脳失調症 1 型に対する分子標的
治療……………藤田 慶大・岡澤 均・ 925(8)

〈ミクログリアと精神・神経疾患〉

神経炎症におけるミクログリアの役割

……………錫村 明生・ 975(9)

ミクログリアと脳発達……………上野 将紀・ 985(9)

ミクログリアと神経変性疾患……………山中 宏二・ 999(9)

精神疾患のミクログリア病態治療仮説 — 橋渡し研究によ
る仮説説明をめざして

……………加藤 隆弘・扇谷 昌宏・神庭 重信・ 1007(9)

ミクログリアと認知症 — PET イメージングによる診断
の可能性……………宿里 充穂・尾上 浩隆・ 1017(9)

〈成人てんかん — 知っておきたい 6 つのトピック〉

てんかんと運転……………高木 俊輔・松浦 雅人・ 1069(10)

小児てんかん患者の成人期ケアへのトランジションの現状
と課題……………久保田英幹・ 1079(10)

成人てんかんの外科病理……………宮田 元・ 1091(10)

成人てんかん外科の現況

……………大沢伸一郎・岩崎 真樹・冨永 悌二・ 1105(10)

てんかんと自己免疫

……………松本 理器・坂本 光弘・池田 昭夫・ 1115(10)

高齢者てんかんの特徴 — 認知症との関連を含めて

……………石垣征一郎・河村 満・小野賢二郎・ 1125(10)

〈こころの時間学の未来〉

【鼎談】こころの時間学の未来

- ……北澤 茂・田中 真樹・河村 満・1177(11)
主観的現在における知覚的持続時間の諸現象
……村上 郁也・1187(11)
時間とリズムをつなぐ注意のダイナミクス
……黒田 剛士・小野 史典・門田 宏・1195(11)
時間順序をつくり出す神経メカニズム
……北澤 茂・1203(11)
計時と予測の神経機構……田中 真樹
鈴木 智貴・亀田 将史・竹谷 隆司・1213(11)
動物の計時行動と後部帯状回遅延カスケードモデル
……岡ノ谷一夫・黒谷 亨・1223(11)
海馬神経細胞による時間表象
……鹿野 悠・佐々木拓哉・池谷 裕二・1233(11)
過去の学習記憶を未来の適応行動に活かす神経機構
……小川 正晃・1241(11)
時間表現の発達 — 時間の言語化にみられる普遍性と多様
性の観点からの考察
……今西 典子・大津由紀雄・1251(11)
心理的現在（いま）の神経心理学
……緑川 晶・重宗 弥生・1273(11)
時間的に過剰な処理という視点からみた自閉スペクトラム
症の感覚過敏……井手 正和・矢口 彩子
渥美 剛史・安 啓一・和田 真・1281(11)
「ナビゲーション」と「こころの時間」の脳内地図
……河村 満・1291(11)
エピソード記憶における時間情報の処理に関連する神経基
盤とその障害……岩田沙恵子・月浦 崇・1303(11)
類人猿における過去の出来事の記憶と心的時間旅行
……平田 聡・1311(11)

〈運動異常症をみる — Web 動画付録つき〉

- 「不随意運動」から「運動異常症」へ
……福武 敏夫・1359(12)
トゥレット症候群 — 臨床と病態……野村 芳子・1373(12)
自己免疫性脳炎・脳症における運動異常症
……田代 雄一・高嶋 博・1387(12)
心因性非てんかん性発作の診断 — ビデオ脳波同時記録の
前にいかにして症状から疑うか……兼本 浩祐・1401(12)
ジスキネジアの症候と機序……富山 誠彦・1409(12)
薬原性アカシジア……稲田 俊也・1417(12)
コラム — アカシジア……菊池 雷太・1425(12)

（総説）

- 翻訳開始因子 eIF2B の立体構造 — CACH/VWM 型白質脳
症の発症機構解明への手がかりとして

- ……柏木 一宏・伊藤 拓宏・横山 茂之・45(1)
胸腺腫非合併重症筋無力症における拡大胸腺摘除術の意義
— MGTX study ……吉川 弘明・51(1)
筋強直性ジストロフィー研究の進歩 — 治療の可能性
……中森 雅之・高橋 正紀・61(1)
てんかんとスポーツ……辻 貞俊・151(2)
パーキンソン病疾患修飾治療の展望
……志村 秀樹・服部 信孝・159(2)
概日リズムと睡眠恒常性の分子メカニズム
……昆 一弘・大出 晃士・上田 泰己・257(3)
味と匂いを測るセンサ……都甲 潔・557(5)
ALS 皮質運動神経興奮性と神経細胞死 — Dying Forward
仮説……澁谷 和幹・565(5)
塞栓源不明脳塞栓症……平野 照之・651(6)
単一精神病論……菊山 裕貴・金沢 徹文
樽谷精一郎・岡山 達志・米田 博・657(6)
Alzheimer's Therapeutic Research Institute (ATRI)
……嶋田 裕之
加藤 祐一・藤井比佐子・森 啓・856(7)
グルテン失調症 — 新たなバイオマーカーとしての抗トラ
ンスグルタミナーゼ6抗体
……佐藤 健治・南里 和紀・933(8)
低次視覚皮質における方位と色の連合学習
……天野 薫・柴田 和久
川人 光男・佐々木由香・渡邊 武郎・941(8)
成体神経幹細胞の形成・維持メカニズム
……湯泉 直也・原田 雄仁・1027(9)
¹H-MRS を用いた統合失調症のグルタミン酸仮説の検証
……津川 幸子・中島振一郎・1035(9)
多発性硬化症へのフマル酸ジメチル治療
……田中 正美・清水 優子・1041(9)
自己免疫性脳症のスペクトラムとびまん性脳障害の神経症
候学……牧 美充・高嶋 博・1131(10)
気分障害のバイオマーカーと新規抗うつ薬 (R)-ケタミン
……橋本 謙二・1143(10)
パーキンソン病の局所脳体積と社会的認知
……小早川睦貴・1323(11)
抗 MOG 抗体関連疾患……中島 一郎・1331(11)
デコーディッド・ニューロフィードバックを用いたメタ認
知の変容
……小泉 愛・コルテゼ アウレリオ
天野 薫・川人 光男・ラウ ハクワン・1427(12)

（原著）

- 血漿プロトロンビンフラグメント 1+2 濃度測定によるワ
ルファリンや非ビタミン K 拮抗経口抗凝固薬療法中の

抗凝固作用の評価に関する検討
 ……………友田 昌徳・矢坂 正弘
 中西 泰之・高口 剛・中村 麻子
 後藤 聖司・桑城 貴弘・岡田 靖・ 571(5)
 ロチゴチン貼付剤による皮膚障害に対する皮膚外用剤の有効性評価……………安高 勇気・藤岡 伸助
 芝口 浩智・清見 文明・原 暦
 緒方憲太郎・坪井 義夫・神村 英利・ 1047(9)
 90 歳以上の超高齢者における急性期脳梗塞 — 頭部 MRI 拡散強調画像を用いた検討
 ……………坂井 利行・近藤 昌秀
 川名 陽介・中川 俊男・富本 秀和・ 1337(11)
【症例報告】
 側副血行路の破綻によりくも膜下出血を発症したと考えられた頸部内頸動脈閉塞の 1 例
 ……………塚田 剛史・増岡 徹・濱田 秀雄
 伊東正太郎・赤井 卓也・飯塚 秀明・ 71(1)
 被殻出血の血腫除去後に画像診断された高齢者大脳基底核部脳動静脈奇形の 1 例
 ……………上山 謙・小山 誠剛・ 79(1)
 寝言とみなされていた発作時発話の 1 例
 ……………鈴木 健大
 柿坂 庸介・北澤 悠・神 一敬
 佐藤 志帆・岩崎 真樹・藤川 真由
 西尾 慶之・菅野 彰剛・中里 信和・ 167(2)
 味覚障害と延髄孤束核の MRI 信号異常を認めた水痘-帯状疱疹ウイルス感染症の 1 例
 ……………志賀 裕二・金谷 雄平・竹島 慎一
 下江 豊・田中 朗雄・栗山 勝・ 173(2)
 家族発症と思われる成人発症神経核内封入体病の姉妹例
 ……………吉本 武史・高松 和弘・倉重 毅志
 曾根 淳・祖父江 元・栗山 勝・ 267(3)
 低ナトリウム血症を誘因として非痙攣性てんかん重積状態をきたした高齢女性の 1 例
 ……………倉内 麗徳・矢坂 正弘・徳永 敬介
 齊藤 正樹・下濱 俊・岡田 靖・ 489(4)
 両側内頸動脈閉塞を発症した高安静脈炎の 1 例
 ……………江畑 琢矢・植村 順一
 山崎 英一・今井 啓輔・八木田佳樹・ 665(6)
 失音楽症を呈した右側頭葉皮質下出血の 1 例
 ……………永吉 成美
 荒井 隆雄・丹野麻衣子・渡辺 基
 鈴木 禎・赤崎 安晴・村山 雄一・ 862(7)
 両側顔面神経麻痺と嚥下障害を呈したエンテロウイルス D68 脳脊髄炎の成人例……………草部 雄太

竹島 明・清野あずさ・西田 茉那
 高橋 真実・山田 翔太・新保 淳輔
 佐藤 晶・岡本浩一郎・五十嵐修一・ 957(8)
 視野障害で発症し急性期に重度の視力低下に至った破裂前交通動脈瘤の 1 例
 ……………坂倉 和樹・池田 剛
 中居 康展・渡辺 憲幸・椎貝 真成
 上村 和也・山本 哲哉・松村 明・ 1149(10)
 多発性硬膜動静脈瘤による左側頭葉皮質下出血後に顕著な漢字の書字障害を呈した 1 例……………黒須 咲良
 中居 康展・山田 悟志・中条 朋子
 森 悦子・中尾 隼三・上村 和也・ 1435(12)
 Lhermitte-Duclos 病(小脳異形成性神経節細胞腫)を伴った Cowden 症候群の 1 例
 ……………鈴木 英文・細川 恭子・小野 通夫
 小島 康祐・神田益太郎・柴崎 浩・ 1442(12)
【神経画像アトラス】
 非ケトン性高浸透圧性昏睡に合併した脊髄硬膜外気腫
 ……………高谷 美成・内山 智之・村野 俊一・ 671(6)
【Neurological CPC】
 全経過が 6 年で晩期に自律神経障害を呈した家族性脊髄小脳変性症の 63 歳男性剖検例
 ……………山崎 幹大・福田 隆浩・石川 欽也
 後藤 淳・河村 満・井口 保之
 小野賢二郎・織茂 智之・鈴木 正彦
 田久保秀樹・藤ヶ崎純子・星野 晴彦・ 277(3)
【LETTERS】
 血中の酸素だけが欠乏した状態での脳病変は、なぜか特異な病変分布を示す有機水銀中毒症のそれに極めてよく似ていた……………生田 房弘・ 1450(12)
【ポートレート】
 井形昭弘 — 日本の医療と社会を変えた人
 ……………納 光弘・ 577(5)
 黒岩義五郎……………黒岩 義之・ 949(8)
 下田光造 — 精神疾患の神経学的源流を探って
 ……………渡辺 憲・ 1155(10)
【学会印象記】
 10th FENS Forum of Neuroscience (2016 年 7 月 2~6 日, コペンハーゲン)……………渡邊 壘・ 85(1)
 AAIC 2016 — Alzheimer's Association International Conference 2016 (2016 年 7 月 22~28 日, トロント)
 ……………間野 達雄・宮川 統爾・岩田 淳・ 89(1)
 DIAN family conference in AAIC 2016 (2016 年 7 月 23 日, トロント)……………嶋田 裕之・ 178(2)
 PACTRIMS 2016 — The 9th Congress of the Pan-Asian

Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis (2016 年 10 月 27～29 日, バンコク)	……………篠田 紘司・ 181(2)
TTST 2016 Kobe — 13th International Symposium on Thrombolysis Thrombectomy and Acute Stroke Therapy (2016 年 10 月 30 日～11 月 1 日, 神戸)	……………豊田 一則・ 287(3)
Neuroscience 2016 — The 46th Annual Meeting of the Society for Neuroscience (2016 年 11 月 12～16 日, サンディエゴ)	……………川合 隆嗣・ 493(4)
CTAD 2016 — 9th Clinical Trials on Alzheimer's Disease (2016 年 12 月 8～10 日, サンディエゴ)	……………岩坪 威・ 674(6)
American Academy of Neurology 2017 Annual Meeting (2017 年 4 月 22～28 日, ボストン)	……………竹下 幸男・ 1055(9)
21st International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders (2017 年 6 月 4～8 日, バンクーバー)	……………樋口 真人・ 1161(10)
OHBM 2017 — The 23th Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping (2017 年 6 月 25～29 日, バン クーバー)	……………片山奈理子・ 1447(12)

【今月の表紙】

今月の表紙	……………河村 満・岡本 保・菊池 雷太・ 92(1)
今月の表紙	

…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 184(2)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 290(3)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 496(4)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 582(5)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 676(6)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 868(7)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 964(8)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 1058(9)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 1164(10)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 1346(11)
今月の表紙			
…………河村	満・岡本	保・菊池	雷太・ 1452(12)

【訂正とお詫び】

訂正とお詫び……………	709(7)
訂正……………	984(9)